

龍馬と学ぼう

建設業経理士 2 級

建設業経理士 2 級フリーテキスト講座

無料講座

全 14 枚



わかるぜよ

無料動画はお持ちのテキストの該当の章を読んだうえで視聴して下さい



「そこまで質問されて委員会」

日商簿記・会計資格・
税法資格の質問をどなたでもできます。

次回 2/18(水)20:00~

- ニコニコ会員登録(無料)はこちら!
- 弥生カレッジCMCのコミュニティ

1 建設業経理士 2 級の得点目標

	配点	目標点	最低点
第 1 問	20	16	12
第 2 問	12	9	8
第 3 問	14	12	10
第 4 問	24	20	18
第 5 問	30	24	22
合計	100	81	70

日商 2 級がある程度完成している方であれば、CMC 無料講座を聞くだけでも合格は可能です。

より確実にという方は、当社の DVD 講座（過去問ゼミ）で目標点到達は容易です。

1 週間あれば完成に持っていくことができます。

頑張ってください。

日商簿記 2 級の論点が未学習の方は、商業簿記全範囲と工業簿記の総合原価計算以外の論点を確認しておいて下さい。

2. 建設業の特性？

物を造るという観点からは製造業会計の要素が強く、簿記の学習と言う意味では日商簿記 2 級の学習が前提となります。

原価計算の観点からは、個別受注生産になるので個別原価計算の要素が強くなります

一般の製造業よりも工期は比較的長期間に渡るものがある→予算管理・利益管理が大事

完成後の入金だけでなく、着手金や中間金などが発生する事が多い

外注費の割合が多い

生産拠点が点在する

そういった特性を前提に財務諸表と、原価計算の考え方を説明しましょう

①建設業の財務諸表

貸借対照表（抜粋）

＜流動資産＞ 現金預金 受取手形 完成工事未収入金 有価証券 未成工事支出金 材料 貯蔵品 ＜固定資産＞ 建物 機械 工具器具備品 土地 建設仮勘定 特許権 投資有価証券	＜流動負債＞ 支払手形 工事未払金 未成工事受入金 完成工事補償引当金 工事損失引当金 社債 長期借入金 退職給付引当金 ＜純資産＞ 資本金 資本準備金 利益準備金 繰越利益剰余金
--	--

太字は建設業経理士2級で良く出題される科目

自己資本が少ないという特性があります

営業体制がしっかりし着手金・中間金を受け取れる場合は借入負担が少なくなる

損益計算書（抜粋）

完成工事高
完成工事原価
販売費及び一般管理費
営業外収益
営業外費用
特別利益
特別損失
税引前当期純利益
法人税
当期純利益

長期工事を前提に収益の発生主義が認められている（工事進行基準）
借入負担が少ない場合は金利負担が低くなる傾向がある

<過去問 第9回>一般財団法人 建設業振興基金HPより

(1) 前期において契約額 ¥15,000,000 の工事（工期は3年）を受注したが、成果の確実性が見込まれるため前期から工事進行基準を適用している。当該工事の工事原価総額の見積額は ¥12,000,000 であり、前期は ¥3,000,000、当期は ¥6,000,000 の原価が計上されている。なお、着手前の受入金は ¥5,000,000 であった。当期の完成工事高及び完成工事原価に関する仕訳を示しなさい。

完成工事未収入金 6,250,000 / 完成工事高 7,500,000
未成工事受入金 1,250,000
完成工事原価 6,000,000 / 未成工事支出金 6,000,000

動画で解説

完成工事原価報告書（製造原価報告書と同じ形式）

材料費
労務費（うち労務外注費）
外注費
経費（うち人件費）
完成工事原価

建設工事は人件費率が高いので、上記のような内訳表示が必要になります

②建設業の原価計算

大量生産はなじまない事から個別原価計算の手法がとられる

材料費・労務費・外注費・経費を主要科目に位置付ける

仕訳の方法には通常の費目別仕訳法（第1問で頻出）と代表科目仕訳法（第5問で頻出）がある。
費目別仕訳法は勘定連絡図通りに仕訳をしていく方法です。

代表科目仕訳法は購入時に消費したものとして未成工事支出金勘定で記帳する方法の事である
従って代表科目仕訳法では材料費や労務費・経費勘定は登場しません。

工事直接費と工事間接費

直接費→未成工事支出金（≒仕掛品）

間接費→工事間接費（≒製造間接費）

	直接費	間接費
材料費	鉄筋・鉄骨・セメント等 エアコン・照明など	ガソリン・切削油・電球等 ハンマー等の工具
労務費	現場作業に従事する人の 作業に関わるもの	左以外の物
外注費	原則として直接費 建設業では下請け依存度が高いので独立科目として管理しま す 労務費率が高い場合は労務外注費として労務費に含める事も ある（その場合は完成工事原価報告書に内訳記入します） 出来高に対する支払いを行うケースもあります 外注費 400,000 / 工事未払金 400,000 (1,000,000 の 40%)	
経費	設計費、動力費	棚卸減耗費、減価償却費、修繕 費、交通費等

※労務費の分類

原価計算上の分類

国土交通省の基準

直接作業員に対する賃金・給料・手当
工事現場の管理者や事務職員の給料手当
退職給付引当金繰入額
法定福利費

労務費（労務外注費含む）

} 経費

③原価計算の流れ（一般の製造業と比較して）

<工事指図書→工事台帳（原価計算表）<未成工事支出金勘定とリンクする>

<製造指図書→原価計算表<仕掛品勘定とリンクする>

工事間接費に関しては予定配賦をしっかり押さえておくこと（第3問、4問で頻出）

これも工業簿記の製造間接費の予定配賦とまったく同じ概念

なるほど、投資した側と
された側の B/S をイメ
ージすればいいがか



3. 日商簿記2級との仕訳（勘定科目）の違い

科目の違いは財務諸表の項目で見て頂いた通りですが、一連の流れを確認しておきましょう。

仕訳は費目別仕訳法で行っている。

（工事完成基準）

	建設業	製造業
請負契約 1,000,000 円の工事につき 300,000 円の着手金をもらった	現金 300,000 / 未成工事受入金 300,000	現金 300,000 / 前受金 300,000
材料 100,000、経費 300,000 を購入し、翌月末の支払いとした 労務費は現金で 500,000 円支払った	材料費 100,000 / 工事未払金 100,000 経費 300,000 / 工事未払金 300,000 労務費 500,000 / 現金 500,000	材料費 100,000 / 買掛金 100,000 経費 300,000 / 未払金 300,000 労務費 500,000 / 現金 500,000
決算を迎えた 完成していない	未成工事支出金 900,000 / 材料費 100,000 経費 300,000 労務費 500,000	仕掛品 900,000 / 材料費 100,000 経費 300,000 労務費 500,000
<第2期> 工事が完成した	未成工事受入金 300,000 / 完成工事未収入金 700,000 / 完成工事高 1,000,000 完成工事原価 900,000 / 未成工事支出金 900,000	前受金 300,000 / 売上高 1,000,000 売掛金 700,000 製品 900,000 / 仕掛品 900,000 売上原価 900,000 / 製品 900,000

建設業には製品勘定に対応する勘定はありません（在庫を置くケースは一般的にはない）

(工事進行基準)

	建設業	製造業
請負契約 1,000,000 円の工事につき 300,000 円の着手金をもらった	現金 300,000 / 未成工事受入金 300,000	現金 300,000 / 前受金 300,000
材料 100,000、経費 300,000 を購入し、翌月末の支払いとした 労務費は現金で 500,000 円支払った	材料費 100,000 / 工事未払金 100,000 経費 300,000 / 工事未払金 300,000 労務費 500,000 / 現金 500,000	材料費 100,000 / 買掛金 100,000 経費 300,000 / 未払金 300,000 労務費 500,000 / 現金 500,000
決算を迎えた 完成していない 見積工事原価は 900,000 であった。 実際にかかった原価は 材料費 60,000 労務費 300,000、経費 180,000 だった	未成工事支出金 900,000 / 材料費 100,000 経費 300,000 労務費 500,000 完成工事原価 540,000 / 未成工事支出金 540,000 未成工事受入金 300,000 / 完成工事未収入金 300,000 / / 完成工事高 600,000	一般製造業に進行基準はありません
工事が(着手金 200,000 円) 完成した なお、最終的な原価も 900,000 であった	完成工事未収入金 400,000 / 完成工事高 400,000 完成工事原価 360,000 / 未成工事支出金 360,000	前受金 300,000 / 売上高 1,000,000 売掛金 700,000 製品 900,000 / 仕掛品 900,000 売上原価 900,000 / 製品 900,000

<日商2級で学ばない論点の仕訳>

①自社の建物建設中に、倉庫から材料 100,000 を払いだした。

建設仮勘定 100,000 / 材料 100,000

②取引先の依頼により持合株式 100,000 円の購入を依頼されたので購入した

投資有価証券 100,000 / 現金 100,000

逆に言うと、日商
2級の学習が済ん
でると楽ながじゃ



4. 工事進行基準について

建設業では工期が決算期を超えて長期にわたる事があり、実現主義では収益を計上できない期が存在する事になります。そこで、成果の確実性が認められる場合（工事収益総額・工事原価総額・決算日における工事進捗度が信頼性をもって見積もる事ができる事）においては、工事の進捗度に応じて収益計上を可能としています。

通常は原価比例法で計算されます。計算方法はP 4の過去問とP 8で解説した通りです。



2級の試験では簡単な問題しか出ないから安心して

5. 部門別計算の階梯式配賦法に関して

<過去問 第7回>一般財団法人 建設業振興基金HPより

銚子建設株式会社では、工事を第1部門と第2部門とで施工している。また、この他、両部門に共通して補助的なサービスを提供している車両部門、機械部門および材料管理部門があり、これらの補助部門は独立して各部門の原価管理を実施している。次の<資料>に基づいて、階梯式配賦法により補助部門費を施工部門に配賦し、解答用紙の「部門費振替表」を完成しなさい。なお、補助部門費に関する配賦は第1順位を材料管理部門、第2順位を機械部門、第3順位を車両部門とする。また、解答の記入において端数が生じた場合には、円未満を四捨五入すること。(14点)

- 2 -

<資料>

(1) 「部門費配分表」に集計された各部門費の合計金額

第1部門 ¥2,256,378 第2部門 ¥1,877,923

車両部門 ¥223,115 機械部門 ¥335,698 材料管理部門 ¥400,556

(2) 各補助部門の他部門へのサービス提供度合 (単位: %)

	第1部門	第2部門	車両部門	機械部門	材料管理部門
車両部門	45	48	—	5	2
機械部門	42	46	4	—	8
材料管理部門	39	45	12	4	—

摘要	合計	第1部門	第2部門	車両部門	機械部門	材料管理部門
部門費合計	5,093,670	2,256,378	1,877,923	223,115	335,698	400,556
材料管理部門	400,556	156,217	180,250	48,067	16,022	
機械部門	351,720	160,568	175,860	15,292	351,750	
車両部門	286,474	138,616	147,858	286,474		
合計	5,093,670	2,711,779	2,381,891			

太字斜体は、解答用紙にあらかじめ記載されていた部分 (P10参照)

右側の部門から左側の部門に順番に配賦するだけです

名前はおおげさじやが、思ったより簡単じゃろ



〔第3問〕

部門費振替表

(単位：円)

摘 要	合 計	第 1 部 門	第 2 部 門	車 両 部 門	機 械 部 門	材 料 管 理 部 門
部門費合計	5,093,670	2,256,378	1,877,923	223,115	335,698	400,556
材料管理部門	()	()	()	()	()	()
機 械 部 門	()	()	()	()	()	()
車 両 部 門	()	()	()	()	()	()
合 計	5,093,670	()	()	()	()	()



試験頑張ってね！！

講座の中で、「補助部門からの配賦先の多い部門が一番右」と申し上げておりますが、正しくは「他の補助部門に対する用役提供件数の多い部門が一番右」となります。訂正してお詫びいたします。

※建設業経理士2級試験では、配賦順序は指定されますが、他の試験では優先順位の決め方は他にもあります。

■2級実施状況

	受験者数	合格者数	合格率
第11回（平成24年3月11日実施）	7,618	3,810	50.0%
第12回（平成24年9月9日実施）	6,391	2,213	34.6%
第13回（平成25年3月10日実施）	6,980	2,682	38.4%
第14回（平成25年9月8日実施）	6,791	2,979	43.9%
第15回（平成26年3月9日実施）	7,025	3,399	48.4%
第16回（平成26年9月7日実施）	6,729	2,342	34.8%

